

さがそう、本当のしあわせ。
感じよう、本当の豊かさ。



公益財団法人 民間放送教育協会
テレビのチカラ
北海道・東北・関東・甲信越地区大会
2025 山梨

大会テーマ

豊かな環境を次世代へ

～やまなし発！水素のチカラ～

山梨発の“水素エネルギー”のこと、どのくらい知っていますか？実はいま、水素エネルギーでカーボンニュートラルをリードする世界的な拠点となるべく、山梨県・研究者・民間企業が一体となり、さまざまなチャレンジを行っています。水素エネルギーの現状と課題について理解し、山梨発で脱炭素に取り組む意義や、日本のエネルギーの未来を考えます。



YBSキャラクター
ちょびー



入場無料

どなたでもご参加
いただけます。

※要申し込み

とき

2025.9.27 土 開演13:00
(開場12:15)

※併設イベントは11:00～13:00

ところ

YCC県民文化ホール 小ホール

会場展示・イベント

水素焙煎コーヒーの試飲や水素で動くFCV車展示 など
当日会場にて体験いただけます。



オープニングアクト

和太鼓ユニット

阿羅漢と山梨の子どもたち

和太鼓奏者の天野直に師事し世界ツアーに参加、作曲家・音楽監督としても活躍する前田タケヤさんを筆頭に、和太鼓の師範が一同に会する新生「阿羅漢」。山梨の子どもたちとチカラを合わせ、伝統と革新、心揺さぶる和太鼓の世界を披露します。



【司会・進行】

YBSアナウンサー
櫻井 和明／水越 千尋



第一部 基調講演

「水素の可能性 水素が描く未来について」

カーボンニュートラルの実現に向けて、カギとなるエネルギーが“水素”といわれています。なぜいま水素に大きな期待が寄せられているのでしょうか。その理由の一つは水素エネルギーがはるか宇宙から、身近なキッチンまで、さまざまな形に姿を変え、さまざまな場所で、さまざまな使い方が出来るからなんです。そんな水素エネルギーが広がることで、私たちの暮らしはどう変わのでしょうか？

技術研究組合FC-Cubic 専務理事

小島 康一

トヨタ自動車株式会社に入社し燃料電池の開発に従事。燃料電池車「MIRA」のユニット開発責任者を務めた。CO₂フリー水素のプロジェクトに携わる。2021年の東京オリンピックの水素燃料を使用する聖火台プロジェクトでは責任者を務めた。

(パネルディスカッションにも参加していただきます)



第二部 パネルディスカッション

「知ろう！水素エネルギーのある明日 やまなしの挑戦」

そもそも水素エネルギーって？暮らしにどんなメリット？その安全性は？水素の基本から、新たな試みまでを分かりやすく、面白く、山梨が誇るスペシャリストの皆さんが紹介します。山梨発の水素エネルギーについて、一緒に知識を深めてみませんか？

【インタビュー】

玉川 徹

1989年にテレビ朝日入社。ディレクターを経て、「羽鳥慎一モーニングショー」でレギュラーコメンテーターを務める。テレビ朝日を定年退職後、フリーランスとして引き続きレギュラーコメンテーター、TOKYO FM「ラジオのタマカワ」でパーソナリティとして出演中。



パネリスト



山梨大学 水素・燃料電池
ナノ材料研究センター長

飯山 明裕

日産自動車(91年工学博士)を経て、2015年に山梨大学燃料電池ナノ材料研究センターに着任。燃料電池や水電解用の材料研究に取り組む。



株式会社やまなしハイドロジェン
カンパニー社長

中澤 宏樹

山梨県公営企業管理者などを経て、同社社長。同社は山梨県、東京電力ホールディングス、東レが2022年に設立。余剰電力で水素を製造し、貯蔵・利用するP2Gシステムで、カーボンニュートラルの実現を目指す。



サントリーホールディングス株式会社
サステナビリティ経営推進本部
新規事業推進グループ 部長

下野 晋平

東南アジアでの事業開発に関わり、デジタルコマースを軸とした新規ブランドの立ち上げに多く携わる。2024年からサステナビリティ経営推進本部にてグリーン水素の事業化を担当。

●大会プログラム

12:15	開場
13:00	オープニングアクト 和太鼓ユニット 阿羅漢と山梨の子どもたち
13:30	第一部 基調講演 「水素の可能性、水素が描く未来について」 技術研究組合FC-Cubic 専務理事 小島 康一
	第二部 パネルディスカッション 「知ろう！水素エネルギーのある明日 やまなしの挑戦」 インタビュアー 玉川 徹
	パネリスト 技術研究組合FC-Cubic 専務理事 小島 康一 山梨大学 水素・燃料電池ナノ材料研究センター長 飯山 明裕 株式会社やまなしハイドロジェンカンパニー社長 中澤 宏樹 サントリーHD(株) サステナビリティ経営推進本部 部長 下野 晋平
16:00	閉会

YBSテレビ ではニュース番組で放送予定

web (山梨放送ホームページ・YBSアプリ)
またはお電話でご応募ください。

■応募締め切り／9月22日(月)17:00まで
■お問い合わせ／YBS山梨放送 審議室内
民教協山梨大会事務局 055-231-3226 (平日9:00～17:00)

お申し込み
はこちら



■主催 公益財団法人 民間放送教育協会

■後援 文部科学省／総務省／山梨県／山梨県教育委員会／甲府市／甲府市教育委員会

■協賛 第一交通産業グループ DAIICHI ■協力 一般財団法人 FCyFINE PLUS ■主管 YBS山梨放送

【お願い】・発熱のある方はご来場をお控えください。・場内での撮影、録音(携帯電話含む)、飲食は禁止です。・主催者が撮影した映像・音声・画像を公開することがあります。あらかじめご了承ください。【個人情報の取り扱いについて】申込みいただいた皆さまの個人情報は山梨放送個人情報保護規定により、今目的のみ利用させていただきます。目的以外は一切利用しません。ご本人の承諾なく、第三者に開示、提供することはありません。